

広報がゆく！インタビュー

猪野 孔太さん

青年海外協力隊事業は、技術や知識を生かし、開発途上地域の住民と一体となって当該地域の経済および社会の発達に協力しようとする青年を派遣する国際協力機構（JICA）の事業です。

今回、大豊町から初めて派遣される猪野孔太さん（川口）に出発直前にお話をうかがってきました。

南アフリカから帰ってきたら、ここでの経験を生かして、大豊町の町おこしに関わっていききたいし、活性化して若い子が戻ってこられる町にしたいですね



Q 応募のきっかけは何でしたか？

いろいろな国の文化を学ぼうと思いい、世界放浪の計画を両親に相談したときに、「青年海外協力隊に応募したらいいんじゃないか？」と勧められたのがきっかけでした。

Q 家族に青年海外協力隊参加の意思を伝えたとときの反応はどうでしたか？

歓迎してくれました。自分の人生だから自分の好きなようにしなさいと背中を押してくれました。

Q 派遣先と派遣期間は？

南アフリカ共和国のムプラマンガ州にある職業訓練校エシヤンゼニFETカレッジのマルチキャンパスに行きます。期間は6月20日から2年間です。

Q 現地での活動内容を教えてください

電気設備科というクラスの授業を担当します。愛知県の自動車メーカーで培った知識やスキルを実践をふまえて広げていきます。

Q 派遣前訓練の内容はどのようなものですか？

主に語学です。英語クラスは、日常会話と実際の職種に関係したプレゼンテーションを英語で行いました。

その他、国際協力、JICAに関する勉強を行い、隊員自ら自主講座等を開いて、お互いのスキルを共有し合いました。

Q 不安に思うことはありますか？

首都の治安が世界で最悪なので、犯罪の危険をうまく回避できるかが不安です。現地に行つて自分の力を存分に発揮できるかという不安もありますが、苦勞するのを楽しみます。

2年後再びインタビューできることを楽しみに待っています。体に気をつけて活躍してください！



猪野さんの現地での様子は、下記のブログで更新されるそうです。皆さんぜひご覧ください！

<http://yaplog.jp/shironezumi/>
「しろねずみボランティアライフ」